

文学部、情報学部（人間・社会情報学科）

問題 I

ドイツ、イタリア、オーストリアは、フランスの台頭に対抗するため三国同盟を結んだ。しかし、イギリスは大陸から距離を置いて、「光榮ある孤立」とよばれる孤立主義を堅持した。そうしたなか、ロシアが南下政策を本格化すると、イギリスはユーラシア各地でロシアとの利害対立が深刻化し、軍事的負荷が増大した。そこで朝鮮進出を国家課題とする日本を利用するため孤立主義を放棄して日英同盟を結び、逡巡する日本をおして日露戦争開戦に踏み切らせた。露仏同盟を結んでいたフランスは、日露開戦後は英仏協商を結んで中立を保った。戦争で敗北したロシアは、東アジアでの南下政策を変更し、日露協約を結んで対日関係を改善した。イギリスも日露戦争後に結んだ英露協商と、露仏同盟、英仏協商を合わせ三国協商を成立させ、三国同盟に対峙した。（345字）

文学部、情報学部（人間・社会情報学科）

問題Ⅱ

問 1

唐を中心とした東アジアの国際秩序形成が進むなかで、朝鮮諸国との人的交流を通じて、中国・西アジアやインドなどの国際的な影響を受けた絵画である。

問 2

新たに密教が伝えられたのちに、極楽往生を願う浄土教も流行したため。

問 3

物語や伝記・寺社の縁起、地方社会や庶民生活を題材とした詞書と絵が交互に展開される絵巻物などが、大和絵で描かれた。

問 4

明で作画技術を学び、帰国後に禅画の制約を超えた日本の水墨画を大成した。

問 5

豪壮な城郭建築をつくった織田信長・豊臣秀吉といった天下人や大名である。

問 6

経済力を増した庶民に関心の高い題材を描き、大量・安価に販売したため。

文学部、情報学部（人間・社会情報学科）

問題Ⅲ

問 1

国司が中央から任国へ派遣される官人であるのに対し、郡司は能力主義を前提としつつ、伝統的な地方豪族を出自とする国造層から任命された。

問 2

郡司が郷長・里正に物資や人夫を徴発するよう、下達文書で命じている。

問 3

大伴継人・佐伯高氏らが大伴家持と共謀し、皇太子早良親王に進言して、長岡京造営の責任者で桓武天皇の側近であった藤原種継を暗殺した。

問 4

後三条天皇がときの摂政・関白を外戚としなかったことを背景に、延久の荘園整理令を発し、摂関家の荘園も例外とせず、基準に合わない荘園を中央主導で整理するなど、摂関家をおさえて天皇親政を展開した。

文学部、情報学部（人間・社会情報学科）

問題Ⅳ

問 1

南方・宮方とは南北朝動乱期に吉野を拠点とした南朝のことで、『太平記』は南北朝期を生き延びた人々を描いた軍記物語で、後世に広く読み継がれた。

問 2

敵対する南朝方の勢力を削ぎつつ、西国を安泰にするため、足利義詮は勢力ある山名時氏父子を「宥免」し、五カ国の守護職を安堵する対応をとった。

問 3

幕府は南北朝の動乱を背景に、守護が領国内の荘園・公領の年貢半分を取得できる半済令を発し、これが恒常化して守護は荘園・公領を侵略していった。

問 4

明德の乱。南北朝の対立を利用して勢力を拡大した有力守護・山名氏の存在は、将軍権力の確立をめざす足利義満の支障となったから。

文学部、情報学部（人間・社会情報学科）

問題Ⅴ

問 1

千島列島は択捉島以南を日本領、得撫島以北をロシア領とし、樺太については国境を定めずに両国人雑居の地とした。

問 2

日本の過去の植民地支配と侵略が多大の損害と苦痛を特にアジア諸国の人々に与えたことを反省し、謝罪を表明した。

問 3

水戸学は江戸時代後期になると、対外的危機感などから尊王論に攘夷論が結びつき尊王攘夷思想を生むことになり、倒幕運動に大きな影響を与えた。

問 4

軍需生産や物流の中心地が被害地となったことが国民に報道されると、戦力増強ができないことが国民にわかり、戦意喪失につながると考えたから。

問 5

当時、朝鮮は日本の植民地であり、朝鮮人は差別の対象となっており、危機的な混乱の中で朝鮮人により報復されるのを日本人が恐れた。

問 6

A 4 B 12 C 5 D 9 E 1 F 8